

研究に関するお知らせ

(研究課題名: 薬剤耐性菌による入院期間・費用の増加に関する検討)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンターでは、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

薬剤耐性は世界で最も重要な公衆衛生課題のひとつであり、本邦でも無視できない負担となっています。また薬剤耐性菌による感染症は通常の抗菌薬での治療が有効でないと考えられるため、入院期間とその費用は耐性を持たない細菌による感染症より長く、高額になることが予想されます。これらも間接的な社会に対する負担となりますが、その点について検討した研究は本邦では前例がありません。本研究の目的は日本の医療機関において、薬剤耐性菌による感染症が耐性を持たない細菌による感染症と比較して、どれほど入院期間や費用に追加の負担となっているかを明らかにすることです。診療録や医事課に保管されている診療情報、厚生労働省院内感染対策サーベイランス(JANIS)のデータを結合することで入院期間や費用を算出します。

■研究期間

理事長承認日～西暦2025年3月31日

■研究の対象となる方

2013年4月1日から2024年3月31日までの間で当院に入院しておられた方のうち、「菌血症」と診断された(感染症の疑いで血液の培養検査を施行され、血液中から何らかの微生物が培養された)方

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報(生年月日、診療行為、入院費用、病名、基礎疾患、細菌培養検査の結果等)等を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■外部への試料・情報の提供

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人を特定できるデータを扱う予定はありません。国立研究開発法人国立国際医療研究センターでは研究データは当センターの管理者が保管・管理します。

■研究組織

○研究代表機関

国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター

○研究分担機関

岐阜大学医学部附属病院 馬場尚志

慈恵医科大学 坂本洋平

京都第一赤十字病院 木下大介

○当院における研究体制

研究責任者: 国際感染症センター センター長 大曲貴夫

研究分担者: AMR 臨床リファレンスセンター 都築慎也

同 松永展明

同 郁傑夫

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、研究の対象となる方が未成年の場合は、保護者やご親族等の代諾者によるお問い合わせやお申し出にも対応させていただきます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。)

■本研究全体の研究代表者:

研究責任者: 国際感染症センター センター長 大曲貴夫

■お問い合わせ先 (平日9時~17時)

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

国立国際医療研究センター国際感染症センター

Tel.03-3202-7181

AMR臨床リファレンスセンター 都築慎也

■掲示場所・交付場所

国際感染症センターホームページへの掲載